



協働のまちづくり市民会議 × 熟議 2019

「あなたが参加したいまちづくり活動って何？
～まちづくり活動を一緒に考えよう～」

開催日：2019年9月1日（日） 10：00～16：00



- ◆ 目的 世代を超えて、地域課題の解決に向けて考える
- ◆ 場所 兵庫大学 17号館407教室
- ◆ 参加費 無料（当日は飲み物、昼食をご用意します）
- ◆ 参加対象 高校生、大学生及び無作為抽出により選ばれた加古川市民
※ 応募者が多数の場合、抽選により参加者を決定します。
- ◆ 参加要件 事前学習への参加が可能な方

- ◆ 主催 加古川市/兵庫大学・兵庫大学短期大学部
- ◆ 後援 兵庫県・兵庫県教育委員会・高砂市・稲美町・播磨町
加古川市教育委員会・高砂市教育委員会・稲美町教育委員会・播磨町教育委員会
加古川観光協会・(公財)兵庫県生きがい創造協会・神戸新聞社
BAN-BANネットワークス(株)



協働のまちづくり市民会議 × 熟議 2019

【協働のまちづくり市民会議×熟議 2019について】

テーマ：あなたが参加したいまちづくり活動って何？
～まちづくり活動を一緒に考えよう～

熟議（熟慮 + 議論）は、自分たちの住む地域の課題を発掘し、その課題への対応策を熟考し、自らが解決に向けて実行することにより、課題解決を市民自らが考え、担う機会とすることを目的としています。

また、「協働のまちづくり市民会議×熟議 2019」は、将来を担う高校生・大学生を主要な参加者とし、政治参画の必要性と市民自らが地域に変化をもたらす存在であることの意義を共に考える機会でもあります。シティズンシップ（市民資格）教育に立脚する兵庫大学熟議手法は若年者の主権者教育にも資するといえます。

2019年度は加古川市と兵庫大学の協働により開催します。3月に策定された「加古川市協働のまちづくり基本方針」に基づいて、「あなたが参加したいまちづくり活動って何？～まちづくり活動を一緒に考えよう～」をテーマに参加者を募集します。地域の資源を活用して市民一人ひとりが、思い描くめざすまちの姿を実現するために、多くの人々がまちづくり活動に参加する仕組みを一緒に考えましょう。

行政と市民と一緒に課題解決し、人が輝くまちをめざすその一歩を一緒に考えてみませんか。

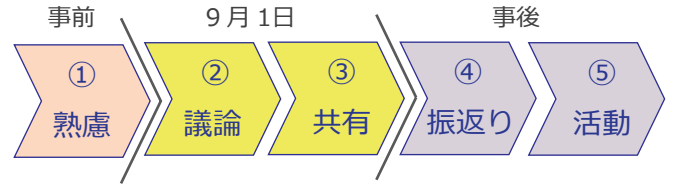
【9月1日（日）プログラム】

時間	内容
9:30～10:00	受付
10:00～10:15	開会・テーマ等の説明
10:15～12:00	第一段階議論（ワークショップ）
12:00～13:00	昼食
13:00～15:00	第二段階議論（ワークショップ）
15:00～15:45	議論の結果の共有・講評等
15:45～16:00	閉会

- ※当日は飲み物と弁当を用意しております。
- ※JR 東加古川駅北口からスクールバスを運行しています。
- ※駐車場、駐輪場をご利用いただけます。

【「協働のまちづくり市民会議×熟議 2019」の流れ】

「協働のまちづくり市民会議×熟議 2019」は以下の5つの段階を踏んで進めます。



①熟慮の段階（事前学習）

※参加者は、必ず参加事前アンケートをWEB上で回答してから熟慮講演会に参加して下さい。

STEP1

◆熟慮講演会 7月13日（土） 13:00～14:30
会場：兵庫大学17号館407教室
講師：兵庫大学 共通教育機構教授 北島 律之

9月1日の議論の場にて必要となる知識や考え方を学ぶ機会です。まちづくりに参加するため、多様な人々との関わり方やチームワークのあり方などを学びます。実は、議論の場はそうした参加の舞台。知識を実践に役立てることもできるでしょう。

STEP2

◆熟慮課題 7月16日（火）～ 8月21日（水）
課題提出締切：8月21日（水）

WEB学習の過程において、専用サイトで質問を行うことができます。熟慮にお役立てください。

「熟慮」のレポートを完成させ、熟議専用ホームページから課題提出をしてください。詳細は熟慮講演会でお伝えします。

②議論の段階（9月1日）

●第一段階議論 105分（ワークショップ）
市民会議×熟慮を通して地域やコミュニティにある資源を活用して実現したいまちの姿を議論します。

●第二段階議論 120分（ワークショップ）
めざすまちの姿を実現するために、どうすれば多くの人々がまちづくり活動に参加することができるのか、その仕組みを考えます。

③共有の段階

グループ毎に、成果物を紹介し、参加者全員で共有します。

④振返りの段階（仲間づくりと自分の成長を振り返る）

参加者は「市民会議×熟議」終了後アンケートに回答し、兵庫大学はアンケート結果を含む活動報告をホームページに掲載します。

⑤活動の段階（個々の活動）

それぞれの立場で、それぞれの考え方をもち、共に活動することが期待されます。

兵庫大学と加古川市はその後押しとなるような活動を継続します。

